

# いんふおめーしょん こうせい

2024年

秋号

No.126

ご自由にお取りください

安心で安全なお産環境  
優しさで包む“総合周産期母子医療センター”



## Index

- P2 特集 チームでつなぐあなたの健康 総合周産期母子医療センター
- P4 市民公開講座 災害時におけるバッククッキング
- P5 **新連載** 医療のことば事典 「お薬手帳」「遺伝子検査」
- P6 地域連携交流会を実施
- P7 連携医紹介 ■ゆばクリニック ■にしおかざきクリニック
- P8 News&Topics





総合周産期  
母子医療センター長  
かとう ゆいち  
加藤 有一

総合周産期母子医療センターには産科部門である母体胎児センターと新生児部門である新生児センターの2翼があります。一見明確に区分整理されているようですが、実際は常に連携し一つのチームとして周産期医療を提供しています。妊婦は胎児とともにあり、新生児は母に育まれるわけですから当然ですね。加えて各部門の多職種スタッフがそれぞれの役割を果たし良好に連携することで当センターは機能しています。そしてさらには当センターは機能しニツクや周産期病院のみならずと健全な医療ネットワークを運営し、当地の周産期医療が成り立っているのです。それはまるで「たくさんの絹を持ち寄り縦や横に紡ぎ、滑らかなシルクの布で母と子を優しく包み込むような医療であり美しく思います。妊婦さんが希望に満ち、出産が祝福に包まれ、生まれた赤ちゃんが健やかに育まれる。私たちはこれからも、安心で安全なお産環境を提供できるよう、ひたむきに取り組んでまいります。どうか安心してお産を迎えてください。



母体胎児センター



新生児センター



新生児専用救急車「ざらり」

母体胎児センター

当センターは三河地区で初の総合周産期母子医療センターとして、この地域の周産期医療の核を担っています。母体胎児センターはリスクのある妊婦さんの集中治療室で、切迫早産・妊娠高血圧症候群・前置胎盤など、多くのハイリスク妊娠を受け入れています。近年出生数は減少していますが、母体年齢の上昇や不妊治療の増加などに伴い、ハイリスク妊娠の割合は増えています。医学的なりリスクだけでなく、育児に不安を抱えた方や経済的不安など、心理的・社会的なサポートが必要な妊婦さんもいらつやいます。当院ではさまざまな疾患や悩みを抱えた妊婦さんたちがより安全・安心なお産ができるよう、産婦人科医・小児科医をはじめ助産師・ソーシャルワーカー・臨床心理士など多職種で連携して診療を行っています。



母体胎児センター長  
なかむら のりあき  
中村 紀友喜

多職種連携にクローズアップ！



臨床心理士

当センターの妊産婦さんはさまざまな不安や緊張を抱えています。臨床心理士はゆっくりと時間をかけて妊産婦さんの思いをうかがい、気持ちの整理をお手伝いしています。



ソーシャルワーカー

急な入院に伴うお子さんの預け先や入院費、今後の育児に関する相談をお受けしています。妊娠、出産は予期しないこともあるため、まずはどんなことでもお気軽にご相談ください。



助産師

妊娠、出産、育児において母子の健康を支え、悩みに寄り添い、サポートをしていくことが助産師の役割です。外来や地域のスタッフと協力し、安心して育児がスタートできるよう支援しています。

新生児センター

多職種連携にクローズアップ！



薬剤師

薬物治療の適正性の評価や変更の提案、多職種との情報共有などを行っています。退院後継続するお薬は患者さんのご家族とともに投薬練習し、安心安全が維持されるように努めています。



看護師

治療が必要な赤ちゃんが健やかに成長できるよう繊細なケアを実践しています。小さくてもたくましい命を守り、ご家族の支えとなる役割を私たち看護師は担っています。



臨床工学技士

機器の点検やトラブル・修理対応を行っています。新生児センターでは人工呼吸器や保育器などたくさんの医療機器があるため、いつでも安全かつ適切に使用できるように管理しています。



新生児センター長  
はつどり てつお  
服部 哲夫

新生児センターはNICU※1とGCU※2から構成され、生まれたばかりの赤ちゃんを支えています。高度な医療機器をそろえ、24時間体制で赤ちゃんの状態を観察し、呼吸補助や栄養管理、各種疾患の治療や予防など、適切な医療を提供します。また、赤ちゃんが無事に成長し家庭に帰る準備が整うまでの間、安全な環境で必要なケアを行います。新生児センターでは、専門的な知識・経験を持った医師や看護師以外にも、薬剤師、臨床検査技師、リハビリテーション技師、管理栄養士、臨床工学技士、保育士などが連携し、赤ちゃんのケアやご家族の支援を行います。少子化の時代ですが、一人ひとりのかけがえのない命を大切にし、お子さんの生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利を守り、お子さんが自分らしく輝ける未来を迎えられるよう日々努めています。

※1 NICU：新生児集中治療室（生まれたばかりの赤ちゃんの集中治療室）  
※2 GCU：継続保育室（NICUから状態が安定した赤ちゃんの観察室）

あなたの健康

チームでつなぐ

病気のためにではなく“人”のために

総合周産期  
母子医療センター

File.  
02

2010年12月に愛知県下3番目、三河地区で初となる総合周産期母子医療センターを開設して以来、西三河南部を中心とした地域の周産期・新生児医療を守るためにさまざまな取り組みに力を入れています。



最低限の備えで温かい食事を

災害時におけるパッククッキング

皆さんは災害時の水や食べ物についてどのように考えていますか？

災害時は水が貴重！

災害時には「水」が最も貴重な資源であり、水を一滴も飲まなければ、私たちの生命は2、3日で危険な状態になります。

水がないと調理も不便

災害初期には支援物資としてパンやおにぎり、カップ麺などが届けられますが、炭水化物に偏ることが多く、タンパク質や野菜、

果物が不足しがちになります。食材が手元があれば調理をすることで栄養のバランスをよくすることはできますが、調理や洗い物には多くの水が必要となります。

「パッククッキング」とは？

タイトルにある「パッククッキング」は、食品を耐熱性のポリ袋に入れて湯煎する調理法です。

水を節約して一気に調理可能

最大のメリットは水の節約ができるという点です。飲用に適さない水でも湯煎として使うことができます。

作ってみよう！

鶏肉の卵とじ

材料

- 焼き鳥の缶詰 ... 1缶
卵 ... 1個
玉ネギ ... 1/4個

調理のポイント

- 火が通りやすいように玉ネギは薄くスライス
焼き鳥の缶詰は鶏肉と調味料でもよい

調理手順

- 1 玉ネギを薄くスライスし、袋に材料を全て入れてよく混ぜる
2 空気を抜いて袋を上部でしぼり、20分湯煎
3 食器へよそす



栄養管理室 管理栄養士 日本栄養士会 災害支援チーム リーダー 包国 亮輔

予約不要 参加費無料

市民公開講座は 奇数月の第3木曜日13:00~14:00に開催！

お問い合わせ 0566-75-2111(代表) 担当:企画課

過去の開催記事は こちらで公開しています

- 医療と社会福祉制度について
がん術後のリンパ浮腫について



その他のレシピは ウェブサイトで公開中！



お薬手帳

！薬剤師が教えます



お薬手帳は、ご自身の薬に関する情報を経時的に記録できる冊子です。お薬手帳を見ることで、いつ、どこで、どんな薬を、どれだけ使用するよう説明されたかを確認することができます。

この飲み合わせの確認や薬の重複を防ぐことにも役立ちます。このように、お薬手帳にはご自身の治療に関する大事な情報が記録されています。

また、薬を安全に使用するうえで、正確なアレルギー歴や副作用歴は重要な情報です。



そして、事故などの緊急時や災害時に備え、お薬手帳は受診時以外にも常に携帯する習慣をつけることが最も大事なポイントです。

新連載

そんな医療の言葉を、当院の専門スタッフが分かりやすく解説！

医療の ことば 事典

● 遺伝子とは

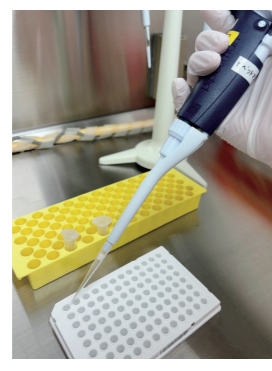
ヒトの体は約37兆個の細胞でつくられており、全ての細胞にはDNAという物質から構成される染色体が含まれています。

● 遺伝子検査の種類

- 1 病原体遺伝子検査
2 体細胞遺伝子検査
3 遺伝学的検査

● 遺伝子検査の良い点、注意点

遺伝子検査技術の進歩により、感染症の原因となる病原体を迅速かつ高感度に検出して、精度の高い治療につなげることができるようになりました。



！臨床検査技師が教えます 遺伝子検査





# 地域連携交流会を実施

地域の医療体制をさらに強固に



- 日時：7月4日
- 場所：安城更生病院 第1講堂
- 参加数：294名  
内訳：医療機関の方85名、当院職員209名

2024年7月4日、令和6年度地域連携交流会を開催いたしました。平成15年から始まったこの会は、顔の見える関係を構築し、日常の医療連携をより深めることを目的としており、年に1度、地域の医療機関と当院の医師が交流する機会になっています。

今回は、地域の医療機関の方85名と当院職員209名が一堂に会し、当院の各科紹介や地域の医療機関の出席者紹介を行いました。その後は懇親会にて意見交換を行い、連携の絆が一層強固となる有意義な会となりました。

地域のみなさんが安心して暮らせる医療体制を構築するため、それぞれの機関が特色を生かし連携を行うことで、この地域の医療連携は着実に進化していきます。



## 連携医紹介

安城更生病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、皆さまの健康を守っています。日常の健康管理やちょっとした体調の変化など、連携医に気軽にご相談ください。

安城市

### ゆばクリニック

泌尿器科専門の医療機関として地域医療への貢献を目指します

当クリニックは平成19年に、JRR三河安城駅と名鉄新安城駅を結ぶ県道12号線脇に開院し、泌尿器科専門医療機関として診療を行っています。

泌尿器科は外科系の診療科であり、安城更生病院の先生たちにおかれましてはロボット支援手術など最先端治療を含め、日々忙しく診療に従事されています。本当にお疲れさまです。

当クリニックは小手術しか行なっていませんが、外来は泌尿器科の特性から安城市のみならず近隣の市からの受診も多くなっています。最近では自動尿沈渣分析器を導入し、待ち時間なく、モニター上で説明を行って好評を得ています。

今後も安城更生病院と連携を取り、泌尿器科専門の開業医としての役割分担を意識し、信頼できる医療機関を目指したいと思えます。



理事長 弓場 宏

安城市篠目町ニタ又24-1 ホームページ  
TEL 0566-71-3456



■診療科目：泌尿器科  
■休診日：木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:30	○	○	○	△	○	△	△
16:00-19:00	○	○	○	△	○	△	△

▲土曜日は9:00~13:00まで  
※午前の受付は平日12:00まで 土曜日12:30まで  
※午後の受付は18:30まで

岡崎市

### にしおかざきクリニック

循環器疾患をはじめとして内科全般の診療を広く行っています

当院は平成13年に岡崎市矢作の富永町に開業しました。安城近隣ですのり頃から多くの方が安城更生病院にお世話になっています。私自身も卒後すぐに安城更生病院に入職し(安城駅前にあった旧病院時代です)循環器内科で数年、働かせていただきました。その後、名古屋市内の病院で十数年働きましたが、開業を考えた時真つ先に頭に浮かんだ場所は母校ともいえる安城更生病院の近隣でした。当院では循環器疾患はもちろん生活習慣病を主に内科全般の診療を行っています。近年、高齢化が進むにつれ悪性疾患の合併、認知症の発症など多彩な問題が生じてくるケースも多くあり、さまざまな科にご紹介させていただいております。今後も病診連携を通じて患者さんにより適した医療を提供できたらと考えております。



院長 鈴木 朗

岡崎市富永町字福塚7-1 TEL 0564-33-7575

■診療科目：内科・リハビリテーション科  
■休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00-19:00	○	○	○	△	○	△	△

臨時休診あり

## topics

# 地域医療連携はなぜ大切?



地域医療連携とは、高度な医療設備や専門性を有する病院、リハビリや療養を重視している病院、地域のクリニックなどがそれぞれの特性を生かして役割分担し、相互に連携を行うことで、地域のみなさんが必要な時に適切な医療を受けることができる仕組みです。

日頃の健康管理は地域のクリニック、専門的な治療や検査は当院で行うことでそれぞれの専門性が発揮され、みなさんの健康を守るにつながります。限られた医療資源をいかに効率良く適切に利用できるのかを地域全体で考えていくことが求められています。





## 当院が安城七夕まつりに初出展!

8月2日~4日に安城七夕まつりが開催され、当院は今年初めてブース出展をしました。当院の循環器センター長である石川医師をはじめとした心不全チームが心電図検査を用いた無料健康相談を行いました。大村愛知県知事や三星安城市長などにもお越しいただき、大盛況となりました。また、JAあいち中央本店においても当院の予防医療センターが無料の体組成計検査を行いました。



## インフルエンザ予防接種のご案内

	大人	子ども
対象年齢	16歳以上の方(高校生以上)	6カ月~15歳以下(中学生まで)
実施期間	令和6年11月6日(水)~12月25日(水)	令和6年11月7日(木)~12月19日(木)
実施日時	水曜日・金曜日の14:00/14:30	木曜日の13:30/14:00/14:30
実施場所	予防医療センター	予防医療センター
申込期間	令和6年10月1日(火)~12月23日(月)	令和6年10月1日(火)~12月17日(火)
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お電話でのご予約 <b>0566-75-3020</b></li> <li>●予防医療センター受付でのご予約 ※受付時間:平日13:00~16:30</li> <li>●安城市の方はWEB予約が可能です</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WEBでのご予約のみ</li> <li>※生後6カ月~小学生までの方は、2回目の予約もお取りください。</li> </ul> 
1回分費用	市の予診票をお持ちの65歳以上の方 ..... <b>1,500円</b> 上記以外の方 ..... <b>4,950円</b>	安城市の補助券をお持ちの方 ..... <b>3,950円</b> 上記以外の方 ..... <b>4,950円</b>

### 安城更生病院の 理念

- 医療を通じて地域住民の健康と幸福に寄与します。
- 患者中心の医療をあらゆる活動の原点とします。
- 職員が誇りと喜びを持って働ける職場を目指します。

### ● 基本方針

1. 西三河南部地域における高度急性期医療を担う基幹病院として、救急医療・がん診療・災害医療・周産期医療の充実を図ります。
2. 安城市の市民病院的役割を担うとともに、地域の医療・保健・福祉(介護)の中心的役割を果たし続けます。
3. 教育病院として学術・研究に勤しみ、人材育成するとともに、地域や医療従事者の教育に従事し、高度医療提供を支えます。
4. 地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、行政・地域医師会・地域医療機関と協力し、地域連携と機能分化を推進します。
5. 病院の機能を十分に発揮するため、人材を確保し、働き方改革を推進するとともに、医療DXの導入を検討します。

## 感染症対策のお願い

病院内では周囲の方に感染を広げないために引き続きマスク着用にご協力ください。

いんふおめーしょん **こうせい**

2024年秋号 No.126 発行日/2024年10月1日  
 発行責任者/病院長 度倉正人 発行/安城更生病院 広報委員会  
 編集協力/株式会社エンカウント

JA愛知厚生連  
**安城更生病院**

〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔28番地  
 TEL 0566-75-2111 <https://anjokosei.jp/>

